

ミダゾラム: ベンゾジアゼピン系鎮静剤

緩和ケアにおける鎮静に対する使用(適応外)

引用)苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン2010・2018

注意)「(成人)集中治療における人工呼吸中の鎮静」→ミダゾラム(人工呼吸)

注意)「てんかん重積状態」→ミダフレッサ

商品名	ミダゾラム注10mg「サンド」 1A=10mg/2mL
一般名	ミダゾラム
標準投与量	5 ~ 120mg/day (通常20 ~ 40mg/day)
投与方法	持続静注・皮下注(持続投与)

- * 皮下投与の場合、一般的に1mL/hr以下で投与する。
- * 当院の汎用シリンジポンプは小数点以下一位まで設定可能。10mLシリンジ装着可能。

持続投与(持続静注・持続皮下注)

希釈方法 《濃度》	2A+生食16mL ⇒ 20mL 《1mg/mL》													
使用方法	導入	0.2~1mL/hr (15~30minを目安に評価)												
	維持	苦痛緩和が不十分な場合、持続投与量を2~4hr毎に30~50%を目安に増量 * 導入時・効果不十分時には1hr分程度の早送りを行ってもよい(静注の場合は1min以上かけてゆっくり静注する。特に衰弱者・高齢者等では注意が必要)												
投与速度 [mL/hr]	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.5	2	3	4	
1日投与量 [mg/day]	4.8	7.2	9.6	12	14.4	16.8	19.2	21.6	24	36	48	72	96	